

震災から9年 あの人、あの日々を忘れない

市内小中学校などで卒業式

3月中旬【市内各小中学校など】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、こども園や3月3日から臨時休業となっていた各小中学校などは、内容を変更した上で予定の日に卒業式を行い、子どもたちの門出を祝いました。在校生や来賓の出席が制限されるなど、いつもと異なる雰囲気の中でも、教職員と保護者が温かく見送り、子どもたちはそれぞれの学び舎に別れを告げました。



震災後の4月、ちょっと遅れて小学校の入学式に出席した子どもたちは、9年間の義務教育を終え、それぞれの未来に巣立ちます（3月13日／釜石東中）



晴れの日を迎え、着飾った卒業生42人は、6年前より大きく成長した姿で校長先生から卒業証書を授与されました（3月17日／甲子小）



保護者と在園児に見守られながら16人が卒園しました（3月14日／上中島こども園）

3月11日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため国内でさまざまな行事やイベントが中止となる中、市内各地で東日本大震災の追悼行事が開かれました。

釜石市民ホールTETTOで開かれた岩手県・釜石市合同追悼式は、検温と手指の消毒、マスクの着用、他、一般市民への参加自粛を要請するなど、感染防止対策を徹底した上で開催しました。総理大臣官邸での献花式を中継し、14時46分の追悼のサイレンに合わせ、犠牲者へ黙とうをささげました。遺族代表の澤田龍明さんは震災後、市民のためにとガスの供給再開に奮闘した日々を思い、父親から「大したモンだ」と言ってもらえる気がした」と震災からおおよそ3300日を振り返りました。

根浜海岸では19時に鎮魂の花火「白菊」が打ち上げられ、周辺に集まった住民は亡き人をしのび冥福を祈りました。

※犠牲者1064人（震災関連死含む）、行方不明者152人

釜石×オーストラリア連邦復興「ありがとう」ホストタウン記念フレーム切手完成披露

3月17日【市長室】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を盛り上げるため、日本郵政（株）東北支社が作成した記念フレーム切手が披露されました。釜石市は2017年にオーストラリアを相手国として「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録され、青少年を中心に交流を深めてきました。切手には釜石虎舞やオーストラリアのオペラハウス、ラグビー交流の様子などの写真やイラストが使用され、釜石市とオーストラリアのつながりを表す記念の一品となりました。



500シートが作成された記念フレーム切手は、市内の郵便局の他、東京中央郵便局、大手町郵便局でも販売されています

釜石市指定文化財 新たに2件指定

3月27日【教育センター】

2月25日に市指定文化財となった2件について指定書交付式が行われました。仮宿三貫嶋神社鰐口は1768年頃の作で、箱崎町に現存する最も古い鰐口です。また、釜石鉱山神社山神碑は、安政4（1957）年仲冬（11月頃）に建立されたもので、大島高任が日本で初めて鉄の連続出銚に成功した安政4年12月1日当時の、釜石市近代産業の歴史の始まりを知る上で重要な歴史資料です。これらの文化財は、当時の人々の生活や文化を現代の私たちに垣間見せてくれます。



三貫嶋神社鰐口（背面）



釜石鉱山神社山神碑

多目的グラウンドの無料開放

3月29日【根浜シーサイドキャンプ場】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内の子どもたちは外で体を動かす機会が少なくなっています。その子どもたちに運動の場を提供することを目的に、根浜シーサイドキャンプ場の指定管理者となっている（株）かまいしDMCが、多目的グラウンドを無料開放しました。グラウンドにはたくさんの子どもが来場し、広く柔らかい芝生の上を無邪気に笑顔いっぱい駆け回り、久々の運動を楽しみました。



たくさんの親子連れでにぎわい、家族でサッカーボールやラグビーボールなどを使い楽しく体を動かしました



①釜石祈りのパークでは、家族ごとに並び替えられた芳名板（慰霊碑）に手を合わせました／②東日本大震災物故者納骨堂では、身元不明のご遺骨5柱、部分骨4柱を供養しました／③震災当時、身をていした避難誘導や水門の閉鎖で殉職した8人の名前が刻まれる東日本大震災殉職消防団員顕彰碑／④3月11日への思いを込めて「復興の鐘」を鳴らしました／⑤東日本大震災津波岩手県・釜石市合同追悼式、遺族代表の澤田さん／⑥追悼式は感染症対策のため例年より参加者を少なくして開催されました／⑦釜石祈りのパーク内で行われた追悼行事。竹灯籠に灯をともし、遺族らと話し合っ決めて「忘れない」の文字が浮かび上がりました／⑧根浜海岸沖に打ち上げられた花火「白菊」